

## 事業実施に係る動機

自分が親になった頃、身近なところに発達障がい児がいたり話を聞いたりすることはなかったが、我が子が幼少のころに病気をして障がいが残るかもしれないと言われたことがあり色々と考え、心配し悩んだ経緯があります。

10 年程前より知人からよく子供のことで相談を受けたり愚痴を聞いたりしており、その知人が当時、どこに行けばいいのかどこに相談すればいいのかわからない子供を殺して私も死にたいとまで言っていました。

結局知人の子供は ASD・ADHD ということがわかりましたが検査を受け病院で診断・処方されるまで 3 年を要し、診断がついてからも悩みは尽きず、こども家庭センターに定期的に面談に行ったり一時保護や警察沙汰になったなど様々な経験をしているのを聞いていました。

知人は自分の経験を活かしたいと療育の仕事に就き学び、同じように悩む保護者の力になりたい、自分の子はしんどかったらうから療育の大切さを教えたり発達障がい児に少しでも早く療育を受けてもらい将来社会に出ることが大変にならないように貢献したいと話していたため今回、自分の所有する家が広く使用していない部屋が 5 つもあり何か出来ないかと考えた時に知人の話を思い出し、自分も社会貢献が出来るのではと思い一緒に事業所を立ち上げてみないかと声をかけました。